

このトップページに戻るには
『Alt+←』キー



『優れた指導法』について知りたい！

1 「優れた指導技術の共有・普及（映像資料）」について

- ・埼玉県学力・学習状況調査の結果から把握した、子供たちの学力を伸ばしている先生方が行う授業等の映像資料

『ICTの活用法』について知りたい！

3 「ICTの効果的な活用」について

- ・文科省の統計等
- ・県のICT活用実践事例集等
- ・事務所の学力向上に関する効果的な取り組み事例等



『優秀な教職員の授業』について知りたい！

2 「優秀な教職員（はつらつ教職員・れんたつ教職員）の授業公開」について

- ・前年度に「優秀な教職員の表彰」を受けた教職員による授業公開

『教科書採択』について知りたい！

4 「教科書採択に係るガイドライン及びリーフレットの周知徹底と活用」について

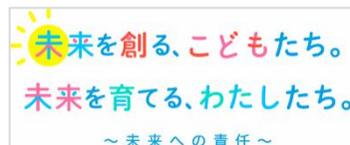
- ・【参考資料】教科書に関する資料
(教科書無償給与・教科書採択等)

質の高い教科書の実現と
教科書採択の公正性・透明性を高めるために
機会・期間を問わず、一切の金品・歳暮を受け取らない。一切の供応を受けない。

『教職員の不祥事防止』について知りたい！

5 「教職員の不祥事防止」について

- (1) 不祥事防止研修プログラム
- (2) 教育長メッセージ
- (3) 懲戒処分の基準
- (4) 埼玉県教育委員会・教職員不祥事根絶ポータルサイト



『働き方改革』について知りたい！

6 「働き方改革の推進」について

- (1) 市町村立小中学校における働き方改革推進に向けた取組
- (2) 公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン
- (3) 小・中学校における働き方改革「取組事例集」



VI 質の高い学校教育のための環境の充実

1 優れた指導技術の共有・普及（映像資料）

埼玉県教育委員会では、令和元年度から、埼玉県学力・学習状況調査の結果から把握した、子供たちの学力を伸ばしている先生方が行う授業等の映像資料を作成して

特徴

- ・本編では、授業全体を通じて子供たちや教師の様子が分かります。
- ・5分程度のダイジェスト版も収録されています。
- ・テロップで、場面説明や教師の指導のねらいなどを示しています。
- ・授業者へのインタビューも収録されています。
- ・視聴ポイントを示した映像資料解説書も付いています。

【視聴方法】

- 1 県立総合教育センターのホームページにアクセスし、下にスクロール



- 2 「義務教育指導課 研修用資料サイト」のバナーをクリック



- 3 「ログイン」をクリック



4 ログインメニューにIDとパスワードを入力し、ログイン

* IDとパスワードを入力 (昨年度のパスワードは、使用できません。)

5 「良い授業」をクリック



6 見たい資料をクリック



□ 優れた指導技術の共有・普及（映像資料）（埼玉県立総合教育センター）

2 「優秀な教職員（はつらつ教職員・れんたつ教職員）」の授業公開

埼玉県教育委員会では、教員の指導力の向上を図ることをねらいとし、前年度に「優秀な教職員の表彰」を受けた教職員による授業公開を実施している。

①実施時期等について 6月から1月（原則として午後に開催）

②教科や会場について

義務教育指導課のサイトで確認することができる。

※毎年、5月下旬にアップロード予定



優秀な教職員（はつらつ教職員・れんたつ教職員）授業公開授業実施案内・申込書等

公開授業実施案内・申込書等

公開授業実...	名前	サイズ	更新日
R4年度...	R4年度授業公開（実施済）	5.08 MB	2022/06/22
	01 優秀な教職員公開授業一覧（0930改訂版）.pdf	498 KB	2022/09/30

サイトのログインID・PSWは、5月発出の通知参照

3 ICTの効果的な活用

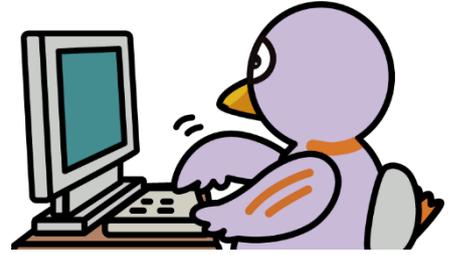


活用に係る事例一覧

今後も随時、更新予定

「調査・統計」「管理」「学習指導」に分けて事例の紹介をしています。

ICTの効果的な活用事例

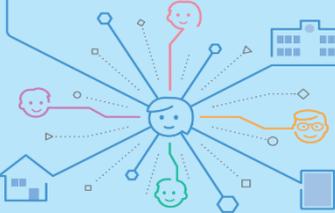


文部科学省

学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果 (文部科学省)

調査・統計

見る



文部科学省

校務系・学習系ネットワークの連携に関する実証研究事業 (文部科学省)

管理

見る



文部科学省

教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン (文部科学省)

管理

見る

スタディーエクス スタイル

StuDX Style

GIGAスクール構想を浸透させ 学びを豊かに変革していくカタチ

StuDX Style

(文部科学省特設サイト)

学習指導

見る

ICT活用レシピ (小・中)

C2 協働での意見整理 (30分)

活用レシピ①

アンケート機能のあるアプリとテキストデータ分析ソフトを活用し、初めて読んだ感想を交流する。

使用するアプリ等

「Google フォーム」(「Microsoft フォーム」)
「ユーザーローカルテキストマイニングツール」(https://textmining.userlocal.jp/)

【活用の流れ】

- 1 「Google フォーム」で感想シートを作成し、入力・送信
- 2 結果グラフを提示し、感想がどの順番に集まっているかを共有する。
- 3 読んだ理由の一言を「スプレッドシート」で作成し、個人紙等で共有する。

ICT活用レシピ (小・中) (総合教育センター)

学習指導

見る

県ICT活用実践事例集 (ICT教育推進課)

学習指導

見る

事例② ポートフォリオ評価

指導の個別化

小学校 第4学年

「ついで、おぼして、生まれる形」 「つないで読んで、すてきな形」

各教科の作成中の作品を振り返り、レイアウト・スクリーン上でつなげることで、自分ができるように考えたり、自分がかかっているものがあるように、次回のアイデアを膨らませる。盛りだくさんの写真を元に、教員が児童の思考過程や思いを把握し、一人ひとりに必要な指導方法を検討したり、評価に活用したりする。

制作した作品を自己学習の記録として残す様子や、提出された、一人ひとりがどのような意図で制作したのか、どのように楽しんだのかをより詳しく把握し、評価にも活用する。

学力向上に関する効果的な取組事例 (東部教育事務所)

学習指導

見る

活用例 4 (体育)

思考力、判断力、表現力等の育成

ゲームの映像を全員で視聴しながら、次のゲームに向けて作戦を考え、交流する。

各教科等の指導におけるICTの活用に関する解説動画 (文部科学省)

学習指導

見る

学習者用デジタル教科書の活用による指導力向上ガイドブック (文部科学省)

学習指導

見る

4 教科書採択に係るガイドライン及びリーフレットの周知徹底と活用について

□埼玉県では平成28年度、教科書採択の公正性・透明性を高める観点から、教科書採択に係るガイドラインを策定した。

□教科書採択の公正性・透明性を高め、市町教育委員会、市町教育委員会事務局職員及び教職員一人一人が、ガイドライン及びリーフレットの内容を踏まえて行動するよう、周知徹底と活用をお願いしている。

【参考資料】 [教科書に関する資料（教科書無償給与・教科書採択等）](#)（埼玉県教育委員会）

5 教職員の不祥事防止

□[不祥事防止研修プログラム「未来を育てる 私たちの使命と誇り ～不祥事根絶を目指して～」](#)（令和7年3月21日更新）

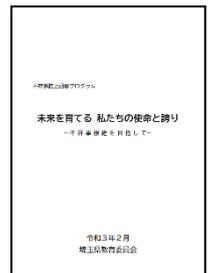
□[教育長メッセージ「誇りと責任 -教育の未来を守るために-」](#)

<教育長メッセージより（令和7年3月21日）>

- ・決して許されない行為 -児童生徒への深刻な影響-
- ・やるべきことをやる、やってはならないことをやらない -凡事徹底-
- ・あなたが守ること、みんなで守ること -未来を担う子供たちのために-

□[懲戒処分の基準（令和6年1月1日施行）](#)

□[埼玉県教育委員会・教職員不祥事根絶ポータルサイト](#)



6 働き方改革の推進について

□[市町村立小中学校における働き方改革推進に向けた取組](#)

（埼玉県教育委員会）

「学校における働き方改革基本方針」（令和7年4月1日～令和10年3月31日）の概要

1 目的

働き方改革の推進によって、子供たちへのよりよい教育を実現する

2 目指す教職員の働き方

「日本一働きやすい」「埼玉の先生になりたい」と言われる埼玉県を目指して
～「効果的・効率的な業務」「多様なワークライフスタイル」「未来の自分への投資時間の確保」の実現～

3 目標

【時間外在校等時間*】月45時間以内、年360時間以内の教員数の割合を令和9年度末までに100%に
【ウェルビーイング*】「働きやすい」「働きがいがある」職場環境の確立

4 目標達成に向けた四つの視点と指標

四つの視点	定量指標	定性指標
(1)教職員の「負担軽減」と「業務量削減」の実現	取組ごとの達成状況	「役割認識」の実感、「オーバーワークではないこと」の実感、「チームワーク」の実感
(2)教職員の「ワーク・ライフ・バランス」の確立	取組ごとの達成状況	「自己成長（新たな学び）」の実感、「リフレッシュ」の実感、「他者承認」の実感
(3)教職員の健康を意識した働き方の推進	取組ごとの達成状況	「自己裁量」の実感、「良好な職場環境等」の実感、「孤独ではないこと」の実感
(4)保護者や地域の理解と連携の促進	取組ごとの達成状況	「保護者・地域からの理解」の実感、「保護者・地域との協力体制」の実感

5 フォローアップ

- (1)「勤務管理システム*」等による客観的な在校等時間の把握
- (2)学校関係者及び保護者等で構成する「多忙化解消・負担軽減検討委員会*」等からの意見聴取
- (3)教育局職員で構成する「フォローアップ委員会*」での取組状況の評価・改善

□[公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン](#)（文部科学省）

在校等時間の超過勤務の上限を原則1か月当たり：45時間以内
勤務時間の上限の目安：1年当たり360時間以内

□[小・中学校における働き方改革「取組事例集」](#)（埼玉県教育委員会）

- ・市町村教育委員会訪問や学校訪問等で提供のあった好事例を中心に紹介

<紹介例 一部抜粋>

- ・各学期末に1週間、朝の活動をなくすとともに、放課後に会議を入れない日課を定め、事務処理の時間を確保した。
- ・毎週水曜日（ノー残業デー）の日課を変更し、原則、放課後の部活動や会議を廃止し執務時間を確保した。
- ・定期テストの回数を1回減らし、授業中に単元テストを実施した。
- ・会議資料は、パソコン画面で確認し、資料の印刷・製本の手間を省いた。
- ・学年内の交換授業を行い、担当する教科数を減少させた。
- ・職員会議などの会議における協議事項の削減や時間の制限（質問のみ、報告のみと分類）

